



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 アイサンテクノロジー株式会社
コード番号 4667 URL <http://www.aisantec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤 哲二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統括本部長 (氏名) 加藤 淳

TEL 052-950-7500

四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	430	△19.9	12	△54.9	12	△55.5	7	△70.1
27年3月期第1四半期	537	27.0	28	97.1	27	103.8	23	104.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 8百万円 (△62.9%) 27年3月期第1四半期 23百万円 (138.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	1.54	—
27年3月期第1四半期	5.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	2,598	58.1	1,515	51.5		
27年3月期	2,986		1,543			

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,510百万円 27年3月期 1,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,000	6.2	285	1.1	280	0.2	185	△16.3	40.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	4,699,600 株	27年3月期	4,699,600 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	92,579 株	27年3月期	92,579 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	4,607,021 株	27年3月期1Q	4,607,028 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びそのご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、政府や日銀による経済・金融政策の効果も現れてきたことにより、輸出企業を中心とした企業業績の回復と、大企業を中心とした給与所得の増加に伴う個人消費の改善の傾向も見られ、総じて経済状況は回復に向かっております。しかしながら、ユーロ経済域内での加盟国に係る財政問題、さらには新興国経済の減速に対する懸念等もあり、世界経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループの主力市場であります測量市場におきましては、当事業年度開始直後の統一地方選挙が実施されたこともあり自治体が主導する各種事業の予算執行が停滞し、設備投資意欲が喚起されない状況にありましたが、徐々に予算の執行が進んできたことで、最新の計測機器を中心としたソリューションへの投資意欲が現れてまいりました。

こうした状況の中で当社グループは、本年3月にリリースしました主力製品の最新バージョン「Wingneo INFINITY Ver. 5」が備えた既存図面等成果物の効果的な利活用が可能となる新機能を通して、お客様の業務効率化の提案活動を実施してまいりました。また、高精度三次元システム(以下、MMS)で計測し作成される、高精度三次元地図データベースを利用した自動走行支援の実現を目指した様々な実証実験に技術協力するとともに、当社独自の先行研究開発も進めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は430百万円(前年同期比19.9%減)、営業利益は12百万円(前年同期比54.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は7百万円(前年同期比70.1%減)となりました。

セグメント別においては、次の通りであります。

①測地ソリューション事業

測地ソリューション事業におきましては、お客様の業務をトータルでソリューションすることを目的に、主力製品「Wingシリーズ」の最新バージョンである「Wingneo INFINITY Ver. 5」を中心にライカジオシステムズ株式会社の最新計測機器にて現場作業の効率化を提案、既存図面並びに成果物の利活用を目的とした複合機等周辺機器の提案など、幅広い活動を実施してまいりました。また、当期間中に全国各地にて「アイサンフェア2015」を開催し、最新の「Wingneo INFINITY Ver. 5」やMMSを中心とした各種計測機器の実機展示とともに、測量・位置情報に関する各種セミナーを実施し、お客様の業務改善に向けた活動を行ってまいりました。

以上の結果、測地ソリューション事業の売上高は337百万円(前年同期比16.4%減)、当セグメント利益(営業利益)は86百万円(前年同期比7.5%減)となりました。

②G空間ソリューション事業

G空間ソリューション事業におきましては、前事業年度より引き続きITS業界を中心に自動走行支援のための高精度三次元地図データベースに関する研究開発や、実証実験等を実施してまいりました。また6月には「アイサンテクノロジーITSフェア2015」を開催し、自動車メーカー及びITS関連企業に対し、各種製品の展示を行うとともに自動走行・安全運転支援に係る最新技術情報をお伝えしてまいりました。特に昨年設立の国立大学法人 名古屋大学及び当社グループを中心とした自動運転技術の公道実証実験ワーキンググループである「アーバンドライブWG」では、名古屋市内における公道での実証実験を行うなど、その研究は順調に推移しました。

一方、高精度三次元計測機器であるMMS車両販売に関しては、本機器を用いた計測作業により収集されるデータを解析した成果物の有用性を各方面に継続的に提案し、MMSは高い評価も得ており、受注も順調に進んでおりますが、MMS車両は受注生産のため納品までに一定の時間を要することから、当第1四半期連結累計期間における売上計上には至りませんでした。

以上の結果、G空間ソリューション事業の売上高は90百万円(前年同期比28.3%減)、当セグメント利益(営業損失)は△26百万円(前年同期は20百万円の営業損失)となりました。

③その他

その他事業の売上高は3百万円(前年同期比62.5%減)、当セグメント利益(営業損失)は△0百万円(前年同期は3百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて387百万円減少し、2,598百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金が471百万円減少したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて359百万円減少し、1,082百万円となりました。その主な要因は支払手形及び買掛金が391百万円減少したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて28百万円減少し、1,515百万円となりました。その主な要因は配当金の支払い等により利益剰余金が29百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月15日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,084,863	1,098,596
受取手形及び売掛金	812,226	340,564
商品及び製品	35,830	34,965
仕掛品	67,061	69,773
その他	78,829	75,223
貸倒引当金	△4,233	△2,339
流動資産合計	2,074,577	1,616,783
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	281,131	280,075
減価償却累計額	△100,992	△98,800
建物及び構築物(純額)	180,139	181,275
土地	341,789	341,789
リース資産	65,645	86,145
減価償却累計額	△29,253	△33,627
リース資産(純額)	36,392	52,518
その他	165,692	187,411
減価償却累計額	△83,097	△92,771
その他(純額)	82,594	94,639
有形固定資産合計	640,916	670,223
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	22,391	24,147
その他	170,191	166,872
投資その他の資産合計	192,582	191,019
固定資産合計	911,470	981,486
資産合計	2,986,048	2,598,269

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	579,545	188,225
短期借入金	-	90,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	48,560	48,560
リース債務	23,095	27,556
前受金	148,138	225,981
未払法人税等	76,914	4,509
賞与引当金	46,758	2,365
その他	142,962	120,394
流動負債合計	1,085,974	727,594
固定負債		
社債	40,000	40,000
リース債務	29,583	40,590
長期借入金	145,760	133,620
退職給付に係る負債	129,581	130,223
繰延税金負債	1,741	2,408
その他	9,981	8,406
固定負債合計	356,647	355,249
負債合計	1,442,621	1,082,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,840	520,840
資本剰余金	559,863	559,863
利益剰余金	467,144	437,400
自己株式	△12,373	△12,373
株主資本合計	1,535,475	1,505,730
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,689	4,777
その他の包括利益累計額合計	3,689	4,777
非支配株主持分	4,262	4,917
純資産合計	1,543,427	1,515,425
負債純資産合計	2,986,048	2,598,269

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	537,498	430,589
売上原価	254,817	204,371
売上総利益	282,680	226,218
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	83,367	59,042
退職給付費用	2,282	1,688
その他	168,437	152,583
販売費及び一般管理費合計	254,087	213,315
営業利益	28,592	12,903
営業外収益		
受取利息	331	289
消費税差額	204	112
その他	176	386
営業外収益合計	712	788
営業外費用		
支払利息	1,996	1,419
その他	193	201
営業外費用合計	2,189	1,620
経常利益	27,115	12,070
特別損失		
固定資産除売却損	—	38
特別損失合計	—	38
税金等調整前四半期純利益	27,115	12,032
法人税、住民税及び事業税	3,212	1,393
法人税等調整額	—	2,871
法人税等合計	3,212	4,265
四半期純利益	23,902	7,766
非支配株主に帰属する四半期純利益	146	654
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,756	7,111

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	23,902	7,766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	1,088
その他の包括利益合計	△13	1,088
四半期包括利益	23,889	8,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,743	8,200
非支配株主に係る四半期包括利益	146	654

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。